

2021年3月1日

北水同窓会会員の皆様へ

北水同窓会幹事長  
宮澤晴彦

## 北水同窓会次回総会に関する対応方法について

まだまだ寒い日が続いておりますが、北水同窓会・会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。また、本会の活動につきましては、日頃より種々ご協力を賜り、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、本会幹事会におきましては、9月以降、次回総会（通常2021年5月に実施予定）の開催方法について種々検討を重ねて参りました。そうした中で、ご承知のようにコロナ禍の第三波がより大きな波として到来し、緊急事態宣言が発出される状況となっております。最近、函館市及びその周辺地域でもかなり多くの感染者が報告されており、これまで感染者ゼロを維持してきた本学部においても、感染が“飛び火”するのではないかと不安が広がりつつあります。もちろん、現時点で今後の動向を正確に予測することはできませんが、新型コロナウイルス感染症のリスクは依然として高く、今後も予断を許さない状況にあるといわざるを得ません。

そこで、幹事会では次回総会についても、例年通りの対面実施は困難と判断し、下記のように対応することが妥当ではないかとの結論に至りました。コロナ禍の影響によるものとはいえ、2年続けて総会を開催できないことにつきましては、幹事会としても大変残念で、会員の皆様に対して誠に心苦しく思う次第ではありますが、以下、次回総会に関する対応方法について、幹事会の検討結果を箇条書きで記します。

- 1) 次回総会（通常2021年5月に実施予定）は開催せず、延期とする。
- 2) 来年（2022年）の総会を第100回記念総会として、新うしお丸竣工に合わせて7月に函館で、水産学部との協力体制の下に対面で実施する。
- 3) 記念事業（記念品の作成・配布等）も次々回の総会時に合わせて実施する。
- 4) 次回総会（通常2021年5月に実施予定）は開催しないが、今期本会活動の総括と次期活動方針、及び決算・予算等に関する決議案については会員諸氏から意見を募り、以下のような段取りで書面審査を行って決定する。

- ①学内役員会を2021年3月(19日を予定)に対面で実施し、決議案について検討する。
  - ②学内役員会で決定した決議案を同窓会ホームページに掲載し、1カ月間程度の期間を置いて会員から意見を募る。
  - ③その後(2021年4月下旬)、会員から寄せられた意見に基づき、幹事会は必要な修正を加えた最終決議案を策定する。
  - ④最終決議案について賛否を問う書面審査を郵送方式で実施する。
  - ⑤書面審査を行ってもらう対象者の範囲は、函館在住(近郊含む)の学外理事と全国の地方理事とする。
- 5) これら一連の流れについては、本会ホームページ及び3月下旬発送の『親潮』に掲載し、周知徹底を図る。
  - 6) 書面審査を通じて決定された内容については、9月発行予定の『親潮』に掲載し、会員に通知する。

以上のような対応方法につきましては、昨年末、横山会長にお伝えし、基本的にご了解を得ております。また、3名の副会長様からも承諾を頂いております。ただし横山会長は、2年連続で総会が開催されないということで、「同窓会に対する会員の関心が薄れてしまうのではないか」、といったご懸念も示されておりました。

そこで、幹事会ではこの会長のご指摘について検討し、9月に実施予定のホームカミングデイ(以下、HCD)において「100回記念総会に関する意見交換会」を実施し、会員の皆様とともに100回記念総会を準備していきたいと考えました。HCDは同窓生が母校に集い、在学を交えて相互の交流を図るという取り組みであり、毎年9月の最終土曜日に本学・札幌キャンパスにおいて開催されています。例年、HCDでは記念講演会と懇親会が催されますが、今年は記念講演会の終了後にこの意見交換会を行いたいと思っております。

もちろん、現段階でHCDの開催が決まっているわけではなく、コロナ禍の状況如何によっては昨年同様中止になることもあり得ます(開催の可否は北大全体で決定)。しかし、開催の運びとなりましたら、是非ともこの意見交換会を実施し、100回記念総会成功に向けて、会員の皆様と交流を深めていきたいと存じます。

以上、長々と述べてまいりましたが、このような北水同窓会次回総会に関する対応方針につきまして、会員の皆様にもご理解・ご協力を賜りたく、本書面を持ちましてお願い申し上げます。なお、ご質問、ご意見等ございましたら、本会事務局あてお伝えくださいますようお願い致します。また、3月下旬にはこのホームページに決議案を掲載しますので、ご覧の上、ご意見等をお寄せください。

末筆になりましたが、会員各位のご健勝を心より祈念致します。